

個人視察報告

成迫 研太

【視 察 日】 令和 7 年 8 月 26 日
【視 察 先】 兵庫県姫路市
【調査事項】 校内サポートルームについて

- ・配置及び利用の現状並びに事業の効果及び課題について確認。
小学生 傾向：学校来れたら、教室は入れる →効果：不登校増加が緩和
中学生 傾向：学校来ても、教室は入れない →効果：不登校減
- ・効果が見られたので全校整備を推進。
- ・リモート授業を実施。5 教科、教室の内容をクロームブックで。
(googlemeet googleclassroom イヤホンを活用)
- ・財源として県補助（2 分の 1）を活用（2 校に 1 校の割合）
- ・姫路市の事情として、「こども若者みらいプラン」はベトナム語版を発行する
ほどベトナム人が多い。（日英越の 3 か国語発行）時間の都合で聞けなかった
が、外国人対応等が必要になったときは参考になると思われる。
- ・議会の委員会が「文教子育て委員会」、以前は特別委員会で、6 年ほど前に「子
ども未来局」を設置した後、常任委員会を再編。「こども」という視点で議論
すると文教と子育てを同じ委員会にすることも選択肢だと感じた。

【視 察 日】 令和 7 年 8 月 27 日
【視 察 先】 静岡県浜松市
【調査事項】 ドローン専用航路について

- ・デジタルライフライン全国総合整備計画のアーリーハーベストプロジェクト
（先行事業）として、着手。・NEDO 事業活用及び民間主体で実施。
- ・浜松市は中山間地域もあり、平時からドローン航路を構築し、利用すること
は災害時の対応、買い物支援等で有用と考えている
- ・ビジネスとしては、単独事業ではマネタイズができず、医薬品物流（1 回
500 円）や河川点検などを組み合わせ。現在もユースケースを模索中。山小
屋への輸送等検討。
- ・課題として、①利用が増えないとドローン航路の維持が困難になるが、認知
度が低い、②消防ヘリとの情報共有、③ドローンの性能（輸送重量・飛行時
間）向上・価格低下が必要、④ドローン航路も鉄道上空等は制約あり。
- ・課題はあるが有用と考えている。防災、物流、農林業、インフラメンテナン
ス、広報、建築・測量の 6 分野での活用に官民連携で取り組んでいく予定。
- ・ドローンの通信方式は LTE 回線。他の独自通信体系は構築なし。